

三中だより

令和6年11月28日(木)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木啓介

大田区中央 4-12-8

ほんとうの宝は
おもいがけないところにかくれている
それをさがすには手がいる足がいる
そして感じる心がいる
考えるアタマがいる
ほかでもないあなた自身の

ほんとうの宝は
誰のものでもないみんなのもの
ちからをあわせて 見つけるものつくるもの
私たちは宝だと気づかずに水を飲む
宝だと気づかずに木を見上げる
宝だと気づかずに人に会う

ほんとうの宝は
日々の暮らしの中にひそむ
四季のめぐりの自然にまぎれている
湖の水の源から海までの流れに沿って
どんな気持ちが生まれるだろうか
どんな宝が見つかるだろうか

「谷川俊太郎 作詞」

詩からは、読み手の経験によって、さまざまな意味や背景が読み取れます。もしかしたら、自分にとって大切な宝は、自分自身が成長して心豊かになっていかないと気がつかないのかもしれません

せん。宝は、特別なところに探しにいかなくても、日ごろの生活の中での出会いや体験から探し出せます。そうした日常から宝を見出すためには、日日の努力を積むことが大切です。さらに、自分自身の中に宝を見つける視点をもつことが必要です。そうしないと、自分は気がつかずにすでに持っている宝を磨かずにそのままになってしまったりするかもしれません。一方、自分の経験が時として、理解のバリアとなることもあります。先入観をもって物事を見て、誤った理解をしていると、せっかくの宝を素直に喜べなくなってしまうかもしれません。だから、経験や知識を客観的に振り返っておくことがとても大切なことです。そして、学びは常に更新、つまり学び続けることが重要なのです。

12月に入るこの時期、学校生活では長かった二学期を振り返る機会がいくつもあります。そこで、今年を振り返るとともに、自分自身の成長について考えてみてほしいと思います。物事の受け取り方が変わった、新たな視点を身につけることができた、こうした自覚は、自分自身を客観的に見つめ、成長させるきっかけとなります。次のステップへの成長にむけて取り組んでいけるよう期待します。大森第三中学校では、生徒たちの成長を促し、教育活動をすすめてまいります。ご家庭や地域におかれましても、生徒たちの成長を見守り、お声がけいただきますようお願ひいたします。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	12/3(火)、12/10(火)、12/17(火)、12/24(火)
鳥海 真里	12/4(水)、12/11(水)、12/18(水)
田中 典子	12/2(月)、12/ 9(月)、12/ 16(月)、12/23(月)

※大森三中 相談室直通電話
(3773) 7831

12月の行事予定

合唱コンクールをふりかえって

2年

私は、今回の合唱コンクールで、一年生の時には味わえなかった「優秀賞」という賞のうれしさを感じることができました。一年生の頃は、自分自身も、またほとんどの人が合唱コンクールに対してあまり意欲的ではなかったのが、二年生では、クラス全体から合唱コンクールへの思いというものが出てきて、とても熱くこの行事に取り組むことができました。私はピアノを担当することとなり、夏休みから練習に取り組んでいました。夏期講習や部活動などで、あまり練習時間がとれていないときも多くありました。それでも、自分なりにすきま時間を利用するなど苦心して練習時間を確保したりしていたので、賞がとれたときには、とてもうれしかったです。合唱コンクール本番では、昨年も今年も三年生の歌声に感動しました。三年生は一人一人の合唱コンクールに対する熱い思いが表れていて、とても一生懸命に歌っていて、聞いている側が元気になる歌声でした。来年は、私たちが三年生になります。今年の三年生のように、だれかの心が元気になれるような合唱を創りたいと思います。

合唱コンクールと海外派遣の振り返り

2年

僕のクラスでは、課題曲「時の旅人」自由曲「空は今」を歌いました。クラス目標である、優勝～希望が二組を照らしている～は、「空は今」の歌詞になぞらえたものです。

二組は毎日朝練習をしていました。最初はなかなか一体感が生まれず、また、遅刻してくる人や歌詞間違いをしている人などもいて、本番がとても心配でした。しかし、放課後練習でどうしたら歌詞を覚えられるかを考えて、歌詞の意味を考える時間を作りました。その結果、歌のミスを減らすことができました。

そして迎えた本番当日、とうとう朝練習の開始のときに全員が揃うことはできませんでした。それでも、朝学活でクラスのみんなで円陣を組んで合唱コンクールの開演に臨んだことで、クラスには一体感が生まれていきました。一年生の合唱が終わり、二年生の一番目だったのでみんな緊張していましたが、歌っているときは、笑顔でのびのびと歌えたと思いました。また、歌詞のミスもそれほど気にならず、堂々と歌う事ができました。

クラス目標であった～希望が二組を照らしている～を達成することは残念ながらできませんでしたが、みんなが楽しんで歌う事ができてよかったです。

また、僕は、海外派遣の報告もしました。

アメリカでの活動をスライド映像で流し、説明しました。みんなにわかりやすくはっきりとスピーチするために、内容を暗記して英語でスピーチするために、放課後や家でも何度も繰り返し練習して、自信をもって当日に臨みました。

発表の中のクイズでは体育館全体が盛り上がり、緊張感が和らぎ、最後まで報告をすることができ、自信と達成感を得ることができました。

今回の合唱コンクールでは、クラスメートと気持ちを一つにして楽しむことができ、スピーチでは諦めずに努力を重ね自信をもって臨めたことがよかったです。今後も、いろいろな経験をして、より一層成長していくたいと思います。

合唱コンクールを終えて

2年

今年の合唱コンクールはとてもやりがいを感じられる特別な学校行事でした。そして、クラスをまとめる大変さとクラス全員が心を一つにして歌うことの大切さを経験することができました。

練習は決して楽なものではありませんでした。最初の頃は歌詞をなかなか覚えられなかったり、他のパートにつられて音程がとれなかったりと、とても苦労していました。しかし、毎日の朝練や放課後練習で取り組んだパートごとの練習を重ねることで、少しずつ音程がとれるようになり、課題の考えていた一体感もだんだんと表れてくることを感じました。その背景には担任の先生の支えが大きかったと思っています。先生は毎日の練習の動画を撮ってくれて、聞いている側がどう感じるかを示してくれて、よりよい発表になるようにポイントを教えてくれました。そのおかげで、私たちはパートごとの特徴を引き立てて、歌えるようになりました。本番の日は緊張もありましたが、今までで一番3組らしい合唱ができてよかったです。結果としては、賞を受賞することはできませんでしたが、みんなで目標に向かって頑張ったことは思い出に残るものでした。これからも、学校行事だけでなく、学校生活の全てに全力で取り組めるクラスにできるように、私も学級委員として頑張りたいと思います。



合唱コンクールは、10月26日(土)に実施し、各学年・各クラスが練習の成果を発揮して、すてきなハイモニーを響かせました。